

昨年度は、コロナに明けコロナで終わった一年でした。多くの行事が中止や縮小となる中、後半で活動した行事を紹介します。

## 宇佐八幡神社清掃

毎年枯葉がたくさん落ちてくる10月から1月の第2土曜日に清掃活動をしています。

冬場の朝8時からということで、水たまりには氷が張っていることもあります。口々に交わす「おはよう」の挨拶から始まり、楽しい会話とともに進める作業が終わると、振り返って目前に広がる景色を見た時、「清々しい気持ち」とは、こういうことかと実感しました。



行きは寒さに耐えながらですが、帰りは心も体もポカポカになりますよ。一緒に活動してくださる方募集中です。たくさんの方の参加をお待ちしています。

感染症予防対策には工夫を凝らして計画してきましたが、小学生の親子を対象にした体験教室は、緊急事態宣言が発令されたため、急遽中止することになりました。参加を楽しみにしてくれていた方には、残念な気もちです。

## 『おはぎ作り』

食改のメンバーでおはぎを作りました。久しぶりの作業にもかかわらず、とても手際よく次々と出来上がっていききました。事前に予約して

いただいていた方にお配りしましたが、「牡丹餅」「お萩」「夜舟」「北窓」と、同じものでありながら季節によって変わる名前。一つひとつに込められた意味を「おはぎの話」と題して添えさせていただきます。

# 伝統文化展

2月7日



## 『生け花』

希望者だけの少人数で生け花をしました。今回は、指導して下さる方はなく、各人で

えるだけで奥行きを感じられる様を目の当たりにし、生け花の奥深さを実感しました。個性豊かな作品が、会場に華を添えてくれました。



四苦八苦しながらいけました。会場のメイン飾りをお願いしていた横倉先生から講評もいただけました。一本の花の位置を少し変

## 『針供養』

役目を終えて使えなくなった針に感謝の気持ちを込めて供養しました。

お献茶の後、金剛流御詠歌西支部の皆さんに御詠歌を唱えていただきました。肉声での美しい音色の御詠歌が響く中、全員でご焼香を行い、針供養が粛々と執り行われました。

